

2015年9月8日

台風18号、本州上陸の恐れ、9日日中に近畿・東海で大雨ピーク スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」で『最新台風情報』を配信開始 ～関東も10日にかけて大雨続く、雨風ピークや最新の交通への影響予測の確認を～

株式会社ウェザーニューズ(本社：千葉市美浜区、代表取締役社長：草開千仁)は、台風18号に備えていただくため、スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」内の『最新台風情報』や『スマートアラーム 台風モード』にて、台風18号に関する情報配信を開始しました。『最新台風情報』では、台風接近のタイミングや雨風のピーク、交通機関(道路・鉄道・航空)への影響予測、外出危険な時間帯を詳細にご確認いただけます。台風18号は9日昼前に近畿から東海地方に接近・上陸する予想です(8日12時現在)。台風が秋雨前線を刺激するほか、南から湿った空気が継続的に流れ込むため、西～東日本では大雨に注意が必要です。9日日中に近畿・東海地方で大雨のピークとなる予想で、積算雨量は近畿地方の多いところで300～400mm、東海地方(愛知県、岐阜県、静岡県)の多いところでは500mm以上の降水を見込んでいます。また、10日にかけて関東でも多いところで積算雨量500mm～700mmとなる予想です。なお、ウェザーニューズ交通気象センターでは、鉄道・道路では9日朝から関東や東海地方の一部で、航空では9日早朝から夕方にかけて東海地方を中心に運航に影響が出る恐れがあると予想しています。

『最新台風情報』	
スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」 をダウンロード	スマートフォン向けwebサイト 「ウェザーニューズ」 http://weathernews.jp/s/

◆台風18号の最新情報を詳しく伝える『最新台風情報』を配信開始

台風18号は、9日昼前に近畿から東海地方に接近・上陸する予想です。ウェザーニューズでは、スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」で、台風18号の情報を伝える『最新台風情報』の配信を開始しました。『最新台風情報』では、万全の体制で台風18号に備えていただくため、現在地に合わせて雨・風のピークが確認できる「台風ピンポイント天気」や、ウェザーニューズ・気象庁・JTWC(米海・空軍合同台風警戒センター)の台風の進路予測を比較した「3本の予測モデル」など、事前の対策に活用いただける




情報を配信しています。「台風ピンポイント」では、都道府県別の雨風のピークや気象解説コメントのほか、交通機関向けに情報を提供しているウェザーニューズ交通気象センターが発信する鉄道の遅延や運転見合わせ、道路の通行止め、航空便の遅延・欠航といった交通への影響予測を事前にご覧いただけます。

◆台風 18 号の最新見解

8日12時現在、台風18号(中心気圧990hPa、最大瞬間風速35m/s)は、父島の北北西およそ430kmの海上を時速約25キロで北へ進んでいます。今後は、やや発達しながら北寄りに進み、9日の昼前に近畿から東海地方に接近・上陸する予想です。台風が秋雨前線を刺激するほか、南から湿った空気が継続的に流れ込むため、西・東日本では大雨に注意が必要です。積算雨量が多いと予想される東海地方では500mm程度降る可能性があります。また、台風通過後も関東地方では大雨が続き、10日にかけて多いところでは積算雨量500~700mm程度となりそうです。

なお、ウェザーニューズ交通気象センターは、鉄道・道路では9日朝から関東や東海地方の一部で、航空では9日早朝から夕方にかけて東海地方を中心に運航に影響が出る恐れがあると予想しています。

◆台風 18 号の最新情報を通知する「スマートアラーム」

ウェザーニューズは、被害の軽減を目的として、スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」の通知サービス「スマートアラーム」にて台風18号の情報配信を開始しました。「スマートアラーム」は、GPS機能を利用し、利用者の現在地に合わせたピンポイント情報をいち早くお届けします。「スマートアラーム」の“台風”の設定をオンにしておけば、台風の発生や接近・上陸はもちろん、出張先や旅行先でも自分の現在地に合わせて雨・風の強さ、交通機関への影響や台風の進路などを受け取ることができます。最新の台風情報をご覧ください、台風に対して万全の備えを行ってください。

